

石川門 組み立て説明図

記号の説明

- 切りとり線
- 山折り線
- 谷折り線
- 切り込み線
- * のりしろ
- ▨ 切り抜き

つくりかた

- はさみやカッターナイフでパーツをていねいに切り抜きます。
- 鉄筆や空のボールペンをものさしにあて、折り線にそってまっすぐ線をひくように筋をつけた後、しっかりと折り曲げます。
- 木工用ののりを使って組み立てます。のりは紙の切れはしに出してから、つまようじですくって、うすくムラなくぬりましょう。

A 土台の組み立て

※土台は後で組み立ててもかまいません。

B 二重檜の組み立て

向きに注意して、ぴったり重ねて貼り合わせます。

正面

C

クセをつけながらのりづけし、中央の面を揃えて屋根をかぶせ、丸みにそうようしっかりと押さえてのりつけします。

D

角をぴったり合わせてのりつけします。

屋根の端を下向きに倒して、中央でのりつけします。

E

三角形の頂点がぴったり合うようにかぶせ、屋根の裏側でのりつけします。

F

2つ折りにして、長い面を貼り合わせます。

屋根はDと同じように組み立てます。

Eと同じようにかぶせてのりつけします。

G

向きに注意して、奥まで差し込んでのりつけします。

正面

H 高麗門の組み立て

19
屋根が食い込んで
いる方を内側に向けて
のりづけします。

14
20

I

裏返して扉を取りつめます。

正面

扉の切り口に少しだけ
のりをつけて、まっすぐに
乗せて固定します。

15
16
17
18

2つ折りにして貼りあわせ、
はみ出した部分の裏面を
門の内側にのりつけします。
反対側の扉も同様です。

J

22
屋根を組み立てて
中央にのりつけします。

21

K 檜門の組み立て

28
25

L

29

M

30
34
35
23
24
26
27

C と同じように組み立てます。

N

36
37
38

36を組み立て、内側をふさぐように
のりつけします。反対側も同様です。

O

31
32
33

D E と同じように組み立てます。

M

のりしろが長いので、
歪まないようにいねいに
作業してください。

P 多間檜の組み立て

39
40

土台に乗せて、角度を
確認しましょう。

のりしろを内側に差し込んで直角に
組み合わせてのりつけします。
穴から指を差し込んで、のりしろを
しっかり押さえましょう。

Q

41
43

P と同じように組み立てます。

